

參考資料

農山漁村振興交付金（中山間地農業推進対策）のうち 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業 ～地域で支え合うむらづくりの推進～

【令和7年度予算額 7,389（8,389）百万円の内数】
（令和6年度補正予算額 1,325百万円の内数）

<対策のポイント>

中山間地域等において、複数集落の機能を補完する農村RMOの形成を推進するため、むらづくり協議会等が行う実証事業やデジタル技術の導入・定着を推進する取組のほか、協議会の伴走者となる中間支援組織の育成や全国プラットフォームの整備等を支援します。

<事業目標>

農用地保全に取り組む地域運営組織（100地区〔令和8年度まで〕）

<事業の内容>

1. 農村RMOモデル形成支援

① 一般型

むらづくり協議会等による地域の話合いを通じた農用地保全、地域資源活用、生活支援に係る将来ビジョン策定、ビジョンに基づく調査、計画作成、実証事業等の取組、デジタル技術の導入・定着を推進する取組を支援します。

【事業期間：上限3年間、交付率：定額（上限3,000万円（1,000万円（年基準額）×事業年数））】※地域計画連携タイプは年基準額1,200万円

② 活動着手支援型

農村RMOの裾野を広げるため、遊休農地活用の開始や高齢者支援への着手など、農村RMOの形成につなげる取組を支援します。

【事業期間：1年間、交付率：定額（上限200万円）】

2. 農村RMO形成伴走支援

農村RMO形成を効率的に進めるため、中間支援組織の育成等を通じた都道府県単位における伴走支援体制の構築や、各地域の取組に関する情報・知見の蓄積・共有、研修等を行う全国プラットフォームの整備を支援します。

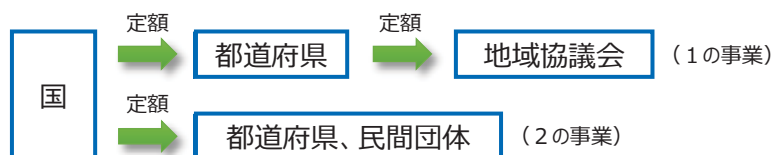
農村型地域運営組織（農村RMO：Region Management Organization）

複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織

※対象地域：8法指定地域等

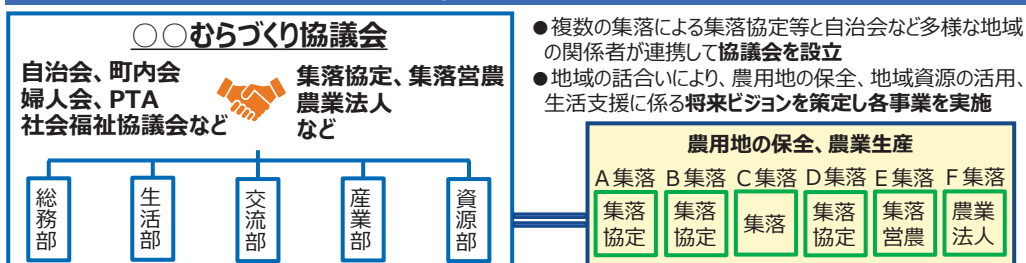
※下線部は拡充事項

<事業の流れ>



<事業イメージ>

農村型地域運営組織（農村RMO）のイメージ



農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

農村RMOモデル形成支援「一般型」



農村RMOモデル形成支援「活動着手支援型」



農村RMO形成伴走支援

【都道府県単位の支援】



中間支援組織による人材育成研修

【全国単位の支援】



農村RMO研究会による情報・知見の蓄積・共有、研修等の支援

【お問い合わせ先】農村振興局地域振興課（03-3501-8359）

農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業 実施状況

令和7年2月時点

中国四国（計25地区）

島根県（8地区）

- 49 和田地区まちづくり推進委員会（浜田市）
- 50 今福まちづくり委員会（浜田市）
- 51 佐田地域づくり協議会（出雲市）
- 52 久利・大屋地区小さな拠点推進協議会（大田市）
- 53 池田集落協定運営委員会（大田市）
- 54 躍動と安らぎの里づくり鍋山（雲南市）
- 55 出羽地区運営協議会（邑南町）
- 56 口羽地区振興協議会（邑南町）

岡山県（2地区）

- 57 吉縁起村協議会（真庭市）
- 58 みまさか農村RMO（美作市）

広島県（4地区）

- 59 石原集落地域振興協議会（三次市）
- 60 田幸地区町内会連合会（三次市）
- 61 布野町まちづくり連合会（三次市）
- 62 庄原市山内集落地域振興協議会（庄原市）

徳島県（4地区）

- 63 加茂谷RMO推進協議会（阿南市）
- 64 椿町農村RMO運営組織協議会（阿南市）
- 65 奥阿波RMO推進協議会（阿南市）
- 66 赤松地区農村RMO推進協議会（美波町）

愛媛県（2地区）

- 67 横林カスタマイズ（西予市）
- 68 奥松瀬川地区農村活性化協議会（東温市）

高知県（5地区）

- 69 北川村地域活性化協議会（北川村）
- 70 本山町農村みらい会議（本山町）
- 71 明るい柳野を創る会（いの町）
- 72 集落活動センター「四万川」推進委員会（梶原町）
- 73 （一社）三原村集落活動センターやまびこ（三原村）

九州（計13地区）

福岡県（1地区）

- 74 採銅所地域コミュニティ協議会（香春町）

長崎県（2地区）

- 75 根獅子・飯良まちづくり運営協議会（平戸市）
- 76 岐宿まちづくり協議会山内支部（五島市）

熊本県（5地区）

- 77 東陽農村RMO協議会（八代市）
- 78 菊鹿さきもり隊（山鹿市）
- 79 宮地岳みらい里山協議会（天草市）
- 80 山江村未来づくり協議会（山江村）
- 81 くまむら地域再生協議会（球磨村）

宮崎県（3地区）

- 82 酒谷地区むらおこし推進協議会（日南市）
- 83 下塚田ふるさと応援隊（日南市）
- 84 東米良地区1000年協議会（西都市）

鹿児島県（2地区）

- 85 北山校区コミュニティ協議会（始良市）
- 86 天城町地域づくり協議会（天城町）

近畿（計11地区）

滋賀県（3地区）

- 38 羽ばたけ鮎河自治振興会（甲賀市）
- 39 東草野農業振興会（米原市）
- 40 桜谷地域農村RMO推進協議会（日野町）

京都府（5地区）

- 41 中六人部地区農村RMO事業推進連絡会議（福知山市）
- 42 宇川連携協議会（京丹後市）
- 43 摩気地域振興協議会（南丹市）
- 44 伊根町農村RMO推進会議（伊根町）
- 45 与謝地域山村活性化協議会（与謝野町）

兵庫県（1地区）

- 46 豊かな郷づくり協議会（赤穂市）

奈良県（1地区）

- 47 葛城山麓地域棚田振興協議会（葛城市）

和歌山県（1地区）

- 48 秋津野地域づくり協議会（田辺市）

北陸（計13地区）

新潟県（2地区）

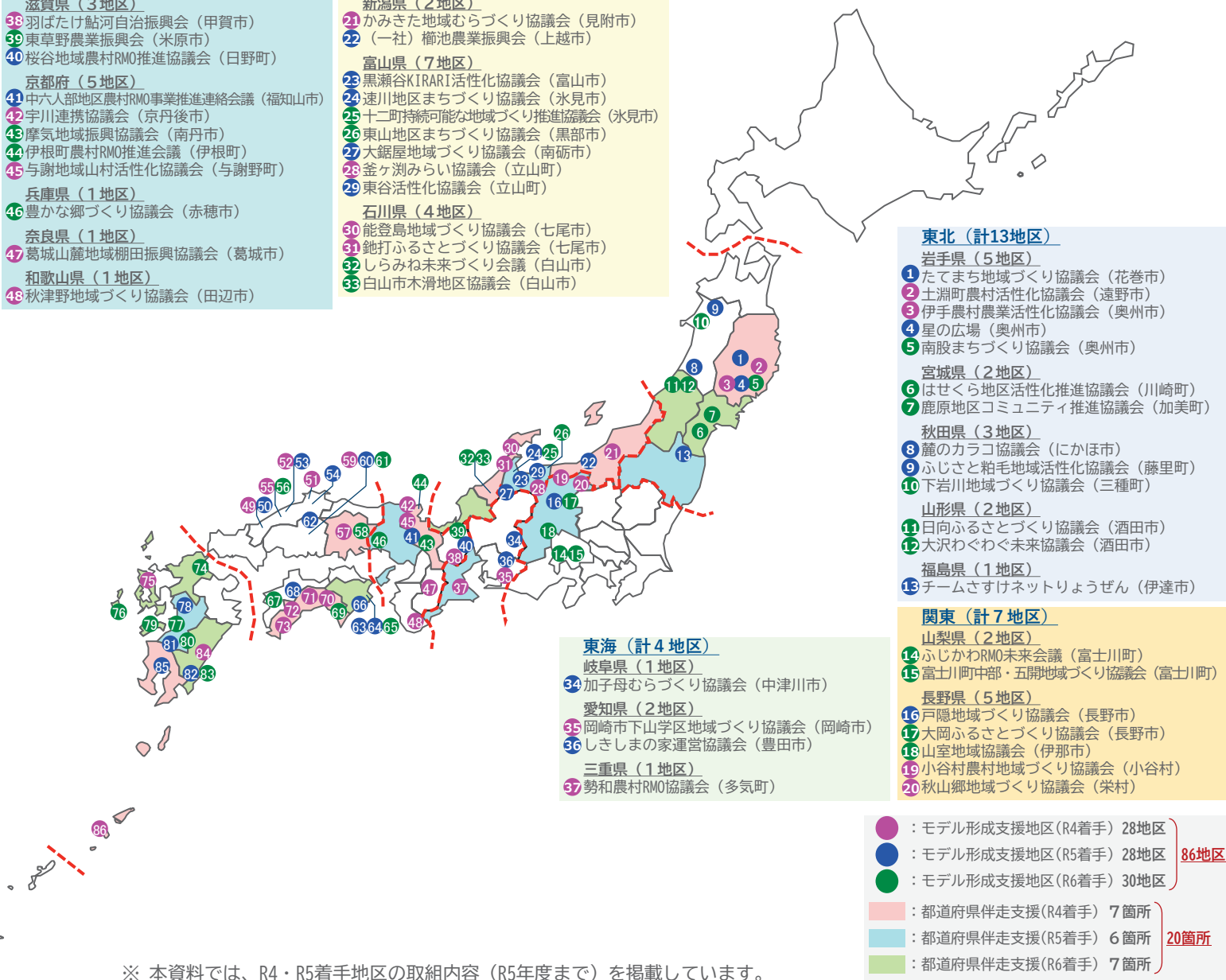
- 21 かみさた地域むらづくり協議会（見附市）
- 22 （一社）櫛池農業振興会（上越市）

富山県（7地区）

- 23 黒瀬谷KIRARI活性化協議会（富山市）
- 24 速川地区まちづくり協議会（氷見市）
- 25 十二町持続可能な地域づくり推進協議会（氷見市）
- 26 東山地区まちづくり協議会（黒部市）
- 27 大鋸屋地域づくり協議会（南砺市）
- 28 釜ヶ淵みらい協議会（立山町）
- 29 東谷活性化協議会（立山町）

石川県（4地区）

- 30 能登島地域づくり協議会（七尾市）
- 31 鉦打ふるさとづくり協議会（七尾市）
- 32 しらみね未来づくり会議（白山市）
- 33 白山市木滑地区協議会（白山市）



※ 本資料では、R4・R5着手地区の取組内容（R5年度まで）を掲載しています。

集落機能を補完する農村型地域運営組織（農村RMO）の形成推進

- 中山間地域等では、高齢化・人口減少の進行により、農業生産活動のみならず、地域資源（農地・水路等）の保全や生活環境（買い物・子育て等）など、集落維持に必要な取組を行う機能が弱体化。
- このため、複数の集落による集落協定や農業法人など農業者を母体とした組織と、自治会や社会福祉法人など地域の関係者などが連携し、農村型地域運営組織（農村RMO）を形成し、農用地保全、地域資源活用、生活支援などに取組み、地域コミュニティ機能を維持・強化することが必要。
- 一方、取組には専門的な知識・技術やノウハウが必要であるが、個々の地域で確保することは困難であること等が課題。

農村RMO形成に関する推進体制

多様な人材の参画

- 地域おこし協力隊
- 地域プロジェクトマネージャー
- 地域活性化起業人
- 生活支援コーディネーター 等

各府省の制度活用

- 内閣府
- 総務省
- 文部科学省
- 厚生労働省
- 国土交通省
- 農林水産省 等

農村RMO ※



複数の集落機能を補完

伴走

都道府県レベルの支援チーム

- 農村RMOを目指す地域に対し、部局横断的な支援チームを形成し、伴走支援

市町村

農林部局、地域振興部局、健康福祉部局、教育委員会等

中間支援組織（NPO法人等）

コーディネーター、有識者等
農協、集落支援員、生活支援コーディネーター、公民館主事、社会教育士等

都道府県

農林部局、地域振興部局、健康福祉部局、教育委員会等

全国レベルの支援

- 農村RMOに関する制度や事例の周知、知見の蓄積・共有

中央研修会

（地域リーダーのスキルアップ）

農村RMO推進フォーラム

（地方農政局単位での普及啓発）

Webサイト

（情報共有・発信）

※農村型地域運営組織

（農村RMO：Region Management Organization）

複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織。

なお、農村型地域運営組織（農村RMO）は、地域運営組織（RMO）の一形態と整理している。

よしえんぎむら 吉縁起村協議会 （岡山県真庭市）



【農用地を維持】

紅はるかを栽培
干し芋やチップスを試作



【生活環境を維持】

立寄処が話し合いや交流の場
農産物や手芸品を販売

小学校や郵便局がなくなり地域に活力が消え、高齢化により自治活動もマンネリ化。危機感をもった兼業農家や元校長など地元有志が何かできないか話し合い「まずはやってみる」を合言葉に活動開始。

活動内容のチラシを全世帯に配布したり、市や県の補助金を活用して観光スポットに看板を設置するなど手探りで取組を進め、令和4年度からは国の補助事業（農村RMOモデル形成支援）を活用して将来ビジョンを策定する等、体制づくりを推進。

吉縁起村協議会「吉地区将来ビジョン」ホームページほかより

農村型地域運営組織（農村RMO）の形成推進 ～地域で支え合うむらづくり～

- **中山間地域等では**、高齢化・人口減少の進行により集落活動の実施が難しくなることで、農地や生活環境を維持していくために必要な**集落の機能が弱体化**。
- 特に、中山間地域等の**小規模集落ほど集落活動が困難**になることから、農用地保全や生活支援など**個々の集落が持つ機能を複数集落エリアで補完**する体制を維持・構築することが重要。

よしえんぎむら 吉縁起村協議会 (岡山県真庭市)



【農用地を維持】

紅はるかを栽培
干し芋やチップスを試作



【生活環境を維持】

立寄処が話し合いや交流の場
農産物や手芸品を販売



○有志による話し合い 【危機感を抱き、一歩を踏み出す】

小学校や郵便局がなくなり地域に活気が消え、高齢化により自治活動もマンネリ化。危機感をもった兼業農家や元校長など地元有志が何かできないか話し合い「まずはやってみる」を合言葉に活動開始。

○市・県・国の施策を活用 【行政による伴走支援】

活動内容のチラシを全世帯に配布したり、市や県の補助金を活用して観光スポットに看板を設置するなど手探りで取組を進め、令和4年度からは国の補助事業（農村RMOモデル形成支援）を活用して将来ビジョンを策定する等、体制づくりを推進。

吉縁起村協議会「吉地区将来ビジョン」ホームページほかより

えーひだカンパニー株式会社 (島根県安来市)



【農用地を維持】

ドローンによる
防除作業を受託



【生活環境を維持】

移動販売車による
買い物支援を実施

○将来ビジョンの策定 【共通認識を持ち、主体性を発揮】

少子高齢化等による地区存続の危機感から、市職員や小売店主など地域住民が中心となり、行政や農協のサポートを受け、地区機能維持の仕組みを創るため88個の戦略プランから成る「比田地域ビジョン」を策定。

○住民出資による株式会社設立 【住民主体による取組の具体化】

ビジョンの確実な実施に向けて、地域住民を構成員として同社を設立。地域農業に貢献する取組を始め、産業振興や生活環境改善、福祉の充実、定住促進等の多岐にわたる事業を展開。

令和4年度 食料・農業・農村白書 P251

「(事例) 地域活性化を支える農村RMOを設立し、多岐にわたる事業を展開(島根県)」を一部加工